

なすしおはら ボランティアセンター情報誌

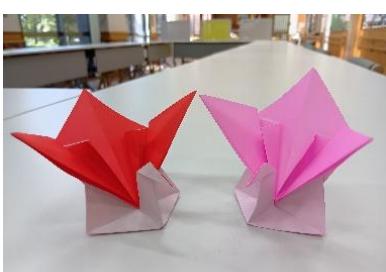
令和8年1月20日号

万事ウマくいく一年になりますように！



12月19日(金)ボランティアセンターで、ボランティア登録者を対象に第2回ボランティア交流会を開催しました。19名が参加され、「みちくさの会」代表の若松東征さんを講師にミニ門松作りを行いました。藁を均等に並べて広げたり、紐をきつく締めていく工程が難しく、講師にアドバイスをもらい、参加者同士でも教え合いながら交流しました。

最後に、参加された時庭さんからは祝い鶴のプレゼントがありました。参加者からは「縄の結び方が難しかったけれど、楽しかった」「良い年が迎えられそう」と喜びの声が聞かれました。





みるるこどもまつりで学びの体験



▲点字体験の様子



11月22日（土）那須塩原市図書館みるるで開催された「みるるこどもまつり」で、「点訳サークルでこぼこ」が点字体験、「のびる会」が音訳体験を行いました。

点字体験をした来場者は、初めて触れる点字用具に興味津々な様子でした。会員からの説明を聞き、打つ場所をゆっくりと確認しながら、名前や好きな言葉など思い思いに打っていました。音訳体験では、好きな本を選び朗読したものを録音してCDにしました。自分の声が録音されたCDがお土産になり体験した子どもは、とても嬉しそうにしていました。

来場者は、貴重な体験をおして、楽しみながら点字と音訳について学んでいました。



▲音訳体験の様子

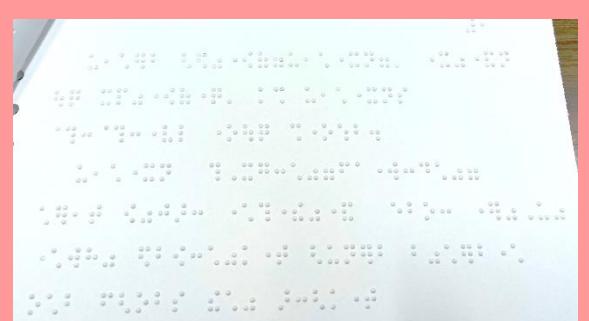


点訳サークルでこぼこ ～令和8年度点字ごみ出しカレンダー完成～

点字・点訳勉強等の活動をしている「点訳サークルでこぼこ」が、12月26日（金）いきいきふれあいセンターで、令和8年度点字ごみ出しカレンダーの打ち出し作業を行いました。毎年、市サーキュラーエコノミー課より依頼を受け作成しています。

この点字ごみ出しカレンダーは、点訳編集ソフトを使ってデータを作成し、その後点字プリンターで点字用紙に打ち出して製本しています。製本作業もページを確認しながらの慎重な作業になります。打ち出し作業は時間がかかるため、何日かに分けて行ったとのことです。

完成したカレンダーは、必要としている視覚障がい者に配布されています。



ハッカセイ キケンゴミ|ハッカブツ|ワ ブンベツ
シテ フネンゴミデワ ナク ハッカブツノ
シューシューピニ ダシテ クダサイ。□
ハッカブツ スプレーカン|エアゾールカン|
カセット コンロヨー ガスボンベ ライター ゼンパン
ガソリン ケイコーカンナド キハツセイ インカセイガ
タカイ エキタイノ ホカン ヨーキナド□

▲上の点字はこの文章になっています



手話サークル弥生会 笑顔あふれるバルーンアート教室

「手話サークル弥生会」が12月3日（水）いきいきふれあいセンターでバルーンアート教室を開催し、聴覚障害者や会員などが参加しました。講師は、弥生会の会員でもある「まりぽん」こと湊真理子さんが務めました。

参加者の皆さんには、はやる気持ちをおさえて講師の説明をしっかりと見てから、丸や細長い風船をバルーン用の空気入れを使って膨らまし、1人2本のステッキを作りました。始めのうちは恐る恐る空気を入れたり、ひねったりしていましたが、徐々に慣れてバルーンアートを楽しんでいる様子が伺えました。更に、リースや雪だるまも作りました。参加者同士で協力したり、教え合ったりする姿もあり、雪だるまの風船にはマジックで自分の好きな様に顔を描き、お互いの雪だるまを見せ合って鑑賞しました。最後には、カラフルな作品を持ち、華やかな記念撮影となりました。

終始、参加者が笑顔で楽しむ姿が印象的な、素敵なかるーンアート教室でした。



ボランティア情報誌に掲載する情報を募集しています♪

個人・団体の活動紹介や会員募集、ボランティア募集、投稿記事、イベント情報を掲載したい、取材に来て欲しいなどの情報を随時募集しています。ボランティアセンターまでお寄せください



太夫塚生きがいサロンで講談

～おはなし三度笠がいざなう忠臣蔵の世界～

ボランティアサークル「おはなし三度笠」の2名による講談が、12月13日（土）太夫塚生きがいサロンで行われました。昨年度、同生きがいサロンで講談を披露し好評だったことから、ぜひもう一度お願いしたいとの要望があり開催されました。まずは、太夫塚公民館に集まった参加者全員で健体操を行った後、講談となりました。

この日は「忠臣蔵の日※」と言われる12月14日の前日ということもあり、「おはなし三度笠」会長の「和菊斎ちかまる」こと野村隆さんは「昨年も来させていただき、ここは好きな場所です。今日は、皆さんを忠臣蔵の世界へいざないたいと思います」とあいさつしました。

一席目は、初舞台となった野州弦五郎さんが「赤穂義士銘々伝～赤垣源蔵 徳利の別れ」を披露し、兄弟の別れの一幕を、心温まる愛情や情景が目に浮かぶような話術で、観客を魅了しました。

次に、師匠である和菊斎ちかまるさんが登壇しました。ユーモアを交えた小話で楽しませた後、忠臣蔵の物語の背景などを紹介し、二席目に「赤穂義士外伝～荒川十太夫」を披露しました。ちかまるさんは、介錯人を務めた荒川十太夫の苦悩と覚悟、誠実さを、真に迫る語り口調で、観客を話の世界に引き込んでいました。息を呑むほどに素晴らしい講談は、まだまだ聞いてみたいほどでした。

※元禄15年（1702年）に赤穂浪士47人が吉良邸に討ち入り、主君の仇討ちを成し遂げたことに由来します。



施設や生きがいサロンに来てほしい、イベントのお手伝い、託児、傾聴などボランティアを必要としている方、どのようなボランティアがあるのか知りたい方、ボランティアをしてみたいという方、お気軽にボランティアセンターへお越しください。ボランティアセンターへの登録（個人・団体）も隨時受け付けています。



3団体合同で古民家ミニ発表会を開催



▲三味線津軽会と藤間さんの共演



▲芝沼さんの歌に合わせて踊る舞の会



12月14日（日）古民家ギャラリー青雲塾で「日本舞踊舞の会」「三味線津軽会」「二胡ハーモニー金の星」合同のミニ発表会を開催しました。

開演前には、三味線津軽会の増子さんが琴を演奏し、来場者を迎えるました。発表会が始まり、最初は「三味線津軽会」が「津軽じょんがら節」「秋田おばこ」など合わせて7曲演奏しました。「黒田節」の演奏では、舞の会の藤間さんが曲に合わせて踊りを披露する場面もありました。続いて「日本舞踊舞の会」と「二胡ハーモニー金の星」が順番に発表しました。舞の会の発表では、ゲストの芝沼弘允さんの唄に合わせ、華麗に舞いました。その他にも、「祝い酒」や「鶴亀」など縁起の良い踊りを披露しました。二胡ハーモニー金の星では、「月の砂漠」や「また君に恋してる」など素敵なハーモニーを奏でていました。演奏の最後は、ドリフターズのメドレーで盛り上げていました。

フィナーレには、三味線津軽会の演奏する「塩原音頭」と「日光和楽踊り」に舞の会の皆さんのが参加し、来場者も手拍子でリズムに乗り、大盛り上がりのフィナーレとなりました。どの団体も工夫を凝らし、素晴らしい発表会になりました。



▲二胡を演奏している様子



▲フィナーレの様子



手品笑会～2施設で笑顔のクリスマス会～



12月24日（水）ディサービス協和苑のクリスマス会で「手品笑会」が活躍しました。団体の紹介では、「手品笑会は笑う会と書きます。皆さん笑顔で観てください。」と話していました。

手品ショーが始まると、次々に繰り出される手品に利用者は釘づけになり、会場からは驚きの声も上がっていました。クリスマスやお正月にちなんだものや、目の錯覚を利用したもの、利用者にも参加してもらいながら、皆で楽しむことのできる手品を披露しました。途中で種明かしをする場面もあり、利用者の笑いを誘いました。

手品ショーの後は利用者の皆さんとbingoゲームを行い、交流を楽しみました。



12月25日（木）特別養護老人ホーム寿山荘で手品を披露しました。最初に「プロではありませんので、皆さんどうか温かい目で見守っていてください。」と挨拶をしました。

曲が始まるとテンポ良く手品を披露し、ユーモアのある話術で会場の人々を引きつけました。横縞のハンカチが縦縞に変わる手品で会場を笑顔にし、本に描いてある蝶のイラストが飛び出してくる驚きの手品もあり、入所者を楽しませていました。途中、失敗してしまう場面もありましたが、「ちょっと失敗しちゃったね～」と明るく笑いに変えていました。最後に会場からは、何か一つ手品の種明かしをして欲しいとリクエストがあり、特別に教えてくれました。手品の種が分かると「なるほど！」と頷いていました。





とんぼの会 クリスマス会 毎年恒例のクリスマスケーキ作り



12月21日（日）那須塩原市高校生ボランティアグループとんぼの会のメンバーが、ボランティアセンターで毎年恒例のクリスマスケーキ作りを行いました。ケーキ作りを通してメンバー同士の交流を深め、ボランティア活動を行うまでのチームワーク向上にもつながりました。

とんぼの会は、主に地域貢献活動を行う高校生のボランティアグループです。随時会員を募集しています。入会を希望する方は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。



要約筆記入門講座(手書きコース)

あなたも聞こえのサポーターになりませんか？

「要約筆記」は、耳が聞こえない人や聞こえにくい人に音声情報を文字で伝える方法です。

- 日 時 令和8年2月6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金) 全4回 午前10時～正午
場 所 健康長寿センター 2階 ボランティアルーム (那須塩原市南郷屋 5-163)
対 象 なるべく全日参加できる方
講 師 全国要約筆記問題研究会栃木支部 支部長 安田房代 氏
参 加 費 400円(教材代)
定 員 15人程度(先着)
申込期間 令和8年1月5日(月)～1月30日(金)
申込方法 電話または申込フォームからお申し込みください
問い合わせ・申し込み 那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター
那須塩原市南郷屋 5-163 ☎0287-47-6700(平日 8:30～17:15)



那須塩原市 第20回 社会福祉大会のお知らせ

開催日 令和8年 1月31日 土

開場 午後1時
開会 午後1時30分 **入場無料**
※整理券が必要です

会 場 大正堂くろいそみるひいホール

○第1部 式 典 午後1時30分～
○第2部 トークショー 午後2時45分～

迷わない力

レスリング女子元日本代表・よしださおり 吉田沙保里さん

整理券配布開始日
12月22日(月)から
※平日のみ

【プロフィール】 1982年10月5日生まれ。三重県出身。父が自宅の道場で開くジュニア教室で3歳からレスリングを始める。2002年、世界選手権に初出場初優勝し、15年大会まで13連覇。五輪は4大会連続出場。04年アテネ大会、08年北京大会、12年ロンドン大会は金メダルを獲得し3連覇。16年リオデジャネイロ大会は銀メダル。12年に五輪と世界選手権を合わせて世界大会13連覇を達成し、国民栄誉賞を受賞。通算成績は、世界大会16連覇、個人戦206連勝。19年1月、33年間の現役生活に区切りをつけ引退を表明した。現在はレスリングのみならずトークショーやイベント、番組出演など幅広い分野で活動している。

配布場所

- 那須塩原市社会福祉協議会本所
(那須塩原市南郷屋5丁目163番地)
- 那須塩原市社会福祉協議会黒磯支所
(那須塩原市桜町1番5号)
- 那須塩原市社会福祉協議会塩原支所
(那須塩原市中塩原1番地2)

整理券は予定数に達し次第、
配布を終了します



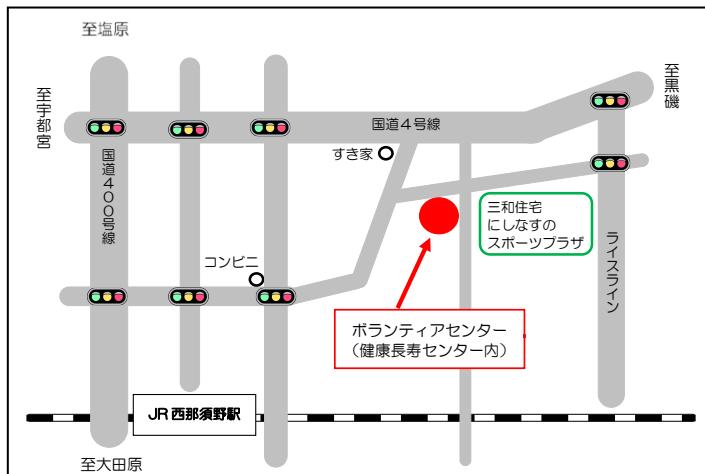
ボランティア活動実績

11月	イベント他	13件	45人	12月	イベント他	18件	78人
	傾聴	19件	26人		傾聴	11件	20人
	福祉体験	5件	15人		福祉体験	5件	26人
	合計	37件	86人		合計	34件	124人
ボランティアセンター登録数 (12月31日現在)							

ボランティアセンター登録数 (12月31日現在)

団体	個人
105団体 (非公開含む)	91人

【ボランティアセンター】



地域共生社会振興基金寄付者一覧

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

(敬称略)

- ・国際医療福祉大学病院
- ・そすいの郷ふるさとにしなす産直会
- ・那須塩原市一般廃棄物処理協同組合
- ・株式会社 Shikano

地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、
那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒329-2705 那須塩原市南郷屋 5-163
(健康長寿センター内)

TEL 0287-47-6700/FAX 0287-47-6690
E メールアドレス v.center@ns-shakyou.jp

★メール、FAX、電話でみなさまの感想や情報を寄せください。



▲ボランティア
センター情報誌



▲ボランティア
センター公式 LINE



▲那須塩原市社協
フェイスブック

